

# 群馬菱の実会だより

<http://www18.ocn.ne.jp/~hishimig/>

(本紙は「群馬菱の実会ホームページ」から、毎月1日に、カラーで綺麗にご覧頂けます。ネットでの閲覧をお奨めします)

## 年頭に当たりまして

群馬菱の実会 会長 二宮平太郎

明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては 健やかに新年をお迎えになられた事と心からお慶び申し上げます。

会長を拝命し半年余り、会員の方々、役員の皆様のご協力、労組・会社の強力なご支援を賜り心より感謝申し上げます。本会の運営に際しては、甚だ慣れない役柄にて会員の皆様にはご満足頂けないのではないかと存じますが、歴代の会長、役員の皆様がこれまで築いてこられた菱の実会の歴史のようなものを大切に守ってゆきたいと心がけております。

「菱の実だより」の発行も開始来本年はあしかけ22年を数えることになり お陰様で当新年号が237号となりました。会員の皆様には日常の楽しい出来事、趣味、スポーツ等々を通して何でも結構ですのでどしどし寄稿頂ければ幸です。

これから多くの会員の方々に待ち焦がれる「菱の実だより」をお届けすべく編集委員も頑張っております。

昨年は世界主要各国の政界トップの再選、復帰、交代があり、我が国でも昨年12月に衆議院選挙が挙行されたことは記憶に新しいところでございます。このような政界の動きとは別に、特に我が国の経済面では大手電機産業界の不振も目立ち総じて激動の1年と言っても過言ではありませんでした。また、原発事故を発端に電力問題が大きな課題ですがこの電力アレルギーによる馬電への逆風も強いと聞き及んでおりますが是非とも頑張って頂きたいと願っております。

今年は(4/1より)この馬電の地に会社が創設され以来55年目を迎えることになります。菱電機器、群馬製作所と変遷する中で私たち会員は年を重ねて参りましたが本年はここでまさしく55年目にふさわしく「明るく、楽しく、幸せいっぱいの健康長寿をめざしてゴー、ゴー」を合言葉にして、素晴らしい今年一年にしようではありませんか。

## 群馬菱の実会の発展を願って

三菱電機労働組合群馬支部  
執行委員長 萩原 浩良

菱の実会の皆様、新年明けましておめでとうございます。

新春を健やかにお迎えのこと、心よりお喜び申し上げます。また、日頃より労働組合の活動に対しまして、ご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は組合役員の改選期でありました。8月から新役員3名を加えて新たな気持ちでスタート致しましたので、皆様方のご支援を宜しくお願ひ致します。

さて、先ずは昨年の馬電トピックスを二つ紹介したいと思います。一つめは省エネです。構内の工場屋根などに太陽光パネルを増設し、合計740kWに能力アップをしました。今後も省エネモデル工場を目指して節電対策を強化していきます。二つめは、34年ぶりに全社監督者大会が9月に馬電で開催されました。各場所から選ばれた班長46名が参加され、社長をはじめ会社幹部から班長に対する期待を伺い、その後班長間で意見交換や交流を実施し活気ある大会になりました。

次に私たちの給湯機事業の状況です。残念ながら未だに震災の影響を受けて市場は厳しい状態が続いています。夏以降は三菱電機リ本の新たなるトータルコンセプト「SMART QUALITY」のもと、太陽光発電やIH調理器などと共にエコキュートの拡販を提案しています。「スマート電化」を是非とも菱の実会の皆様にも拡販頂ければ幸いです。宜しくお願ひ致します。

新年を迎え、私たちは厳しい馬電の状況を回復させるべく組合活動を進めて参ります。「元気な職場」と「笑顔あふれる暮らし」をあるべき姿として、菱の実会の皆様とは更に連携を深めながら、共に「笑顔あふれる暮らし」を作りたいと思います。

最後になりますが、本年も菱の実総会にてお会い出来ることを楽しみにしながら、菱の実会の益々の発展と皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



## 第69回秋季グラウンドゴルフ大会

順位	氏名	HD	スコア	1打	2打
優勝	尾島 勉	0	68	5	7
準優勝	増田 三郎	0	68	4	11
3位	小澤 永一	0	72	2	16
4位	長嶺 元	0	76	1	17
5位	島 保夫	+3	78	2	13
6位	根岸 昇	+2	82	1	14
7位	千葉 武	+1	83	1	14



秋季グラウンドゴルフ大会が、11月26日(月)利根グラウンドゴルフ場で16名の参加で行われました。今回はハンドicap制で、あかぎ・はるな・みようぎコース(2周)の32ホールで行われました。結果は、初参加の尾島 勉さんが5本のホールインワンを出して優勝しました。次回は、2月18日(月)を予定していますので、皆様の参加をお待ちしています。

## 第59回 ゴルフ愛好会コンペ

順位	氏名	GRS	NET
優勝	中島 進	88	67.6
準優勝	高木 よし子	79	70.6
3位	高木 和彦	90	70.8
4位	萩原 十四夫	85	71.8
5位	寒梅 達男	90	72.0
6位	高柳 静雄	93	72.6
7位	田口 勝也	102	73.2



12月11日(火)に上武ゴルフ場に於いて、第59回菱の実会ゴルフ大会を実施しました。12月に入り例年よりも早く寒波がやってきて最高気温も一桁という日があり、当日の予報も気温が低く風も強いとの事でしたが、風もそれほど強くなくまあまあのコンディションの中今年最後のゴルフを楽しむことが出来ました。今回は他のコンペと重なった人が数名いて29名の方に参加して頂き実施しました。コンペの結果は新ペリア集計では驚異的なネットスコア(67.6)で中島進さんが優勝をしました。皆様のご協力に感謝申し上げます。次回の大会は、4月9日(火)に第60回記念大会として桜を見ながらのパーティーも予定しています。(上武ゴルフ場、会費2000円)

## 第11回 カラオケ大会

順位	氏名	曲名	採点
優勝	金子 吉男	汽笛	99点
準優勝	根岸利喜蔵	さざんかの宿	98
3位	永沼ひろ子	ほととぎす	96
4位	永沼 進	さざんかの宿	95
5位	佐藤 辰利	人生みなと	95
6位	大橋 浩	女の港	95
7位	堀米 延秋	くちなしの花	94



第11回カラオケ大会を、12月3日(月)に「まねきねこ・尾島店」で実施しました。

今回の大会では、毎回休まず参加してくれた野村隆一さんが、11月12日に、残念ながら還らぬ人となってしまいました。大会の前に全員で黙祷し、ご冥福を祈りました…。今年も早いもので、正月やクリスマスがやってきます。参加賞は鉢植えで、シクラメン・ポインセチア・シャコ葉サボテン等を用意、季節の雰囲気を盛り上げました。今回の採点結果は、長年の会員である金子吉男さんがみごと優勝しました。

祝  
長寿

「菱寿」のお祝い

平松 靖司 様	伊勢崎市堀口町	87歳 (1926/01/18)
神谷 昭美 様	東京都文京区	86歳 (1927/01/01)

# 【会員投稿】

## フクシマ原発 やじ馬かわら版 (第3話)

岡島 清二

◇ プロローグ 3・11から1年9ヶ月、4つの事故調報告書が8月に出揃い、9月に新エネルギー戦略「2030年代原発ゼロ」が発表された。脱原発の俎上である。しかし解散崩壊の民主政権、旧態変わらぬ自・公保守、我が国原発の道筋は当分決まりそうにない。先進諸国は3・11後脱原発依存に舵を切った。新興国は拡大経済を担保に変わらぬ推進であるが、リトニアの国民投票の如く、ネット社会の民意は超スピードで進化する。フクシマが原発の哲学を変えたのだ。決められず、変えられない日本は「フライパンの煮え蛙」\*1に陥っている…。荒れ狂う政争の具となっている日本原発や如何に…その基盤を求め、事故調4報告と全国紙社説をやじ馬流に裏読み検証し、会員各位の冷笑を懼れず紹介する。

\*1 水を張ったフライパンの蛙が、初めはいつでも出られるからと安心し、ぬるま湯に気持ちよくしているうち、終には茹で上がってしまうという比喩。

### ◇ 事故調報告書 やじ馬評

主原因は4報告共、津波としているが、高線量で現場に入れず、真相は現状不明。驚きは1・2・3号機とも、初動や安全装置作動中の現地対応に、無知やミスがあったこと。他にも著作を多数読んだが、何れも聴き取り情報でアリティーを欠く。最も真贋を得たのは、菅前首相の著書\*2である。3.14深夜、RCIC(安全装置)で冷却できていた2号機が、3号機爆発直後、圧力が急激に上昇、まさに打つ手なし。ここで東電

社長の電話と70人残しの退避があった。しかし 3.15 早朝4号機爆発、同時に2号機圧力が急降下、奇跡が起きたのである。実に爆発で危機となり、爆発により救われたのだ。現場に何人残ろうと対応する術を失えば、不作為=放棄【撤退】\*3 である。なお、3号機はプルサーマル Mox 燃料を使用していた。プロトニウムの放出があった筈? 更に世界が注目した海洋汚染に4報告とも全く触れていない。分厚さばかりで懷疑なり。

\*2 「東電福島原発事故総理大臣として考えたこと」幻冬舎新書(¥860)本文 ex.『福島原発事故を総理として経験した政治家として、何としても脱原発を実現させたい。』

\*3 やじ馬の論理は、現場は死を贈りて自的に残った。しかし本店(社長)は命限界、人命優先と企業の論理で、全面撤退覚悟して政府に抗議した。答弁は後思慮の辻褄合わせ…

類似見解のブログあり : 桜井淳氏 (元原研勤務、理学博士、技術雑誌編集者、1946年群馬県旧新田町生れ、木崎中学出身、菱の実会に同級生が… ネット検索方

### ◇ 社説の比較検証

産経、読売が原発維持、日経がやや右寄ながら中立、東京、毎日、朝日と左寄順に脱原発主張と分析する。同様なことをした

	東京	毎日	朝日	日経	読売	産経
浜岡停止 (11.5.7付)	評価する国民的議論を始めよう	評価する困難回避 先手打つべし	危ないなら、止めるべし	唐突、丁寧な説明が必要より	停止やむなし 万全を尽くせ	唐突、原発否定に繋がらないか
30年代ゼロ (12.9.15付)	大いに評価、 もっと早くゼロへ	180度方針転換 を評価する	評価する核燃サイクルの廃止	安全保障、国民生活責任感あり	戦略に値せず 経済雇用観	日本没落の空論 即撤回23%超へ

学者(専修大藤森研教授)がいた。全国46紙の社説を1年半もナビ分析。結果は脱原発:東京、毎日、朝日など28紙、減原発:日経、中国など14紙、原発維持:読売、産経の2紙で、福島民報、福井の2紙は方向性示さず(地元・過去のしがらみ?)。やじ馬のピンポイント検証と大差なし。各社の主張は一貫してブレはなく、強い信念を感じる。

従って、日常読んでいる新聞により、思考が洗脳されると心得たい。東京と産経を読み比べると、学ぶことが多いのかも…。

因みに最近の世論調査では、30年代より前に原発ゼロ:36%、30年代:15%、30年代より後:11%であり、ゼロにしない:31%、回答なし:7%であった。将来的に原発ゼロを望む人が、全体で 62%を占める(12.10.03 朝日)。選挙の争点になるはず…!

◇ エピローグ 3・11が遠のくほど、脱原発の声は風化するはずとの見方があった。だが、逆に原発ゼロを望む人が徐々に増えている。それは原発の「安全、コスト、廃棄物処理、核燃サイクル、CO<sub>2</sub>排出、電力不足」等、全ての欺瞞が解け、被曝国なるが故、原発推進を秘密裏に進めたツケが廻って来たのである。現実10年後には、核廃棄物の保管場所が無くなる。この解決なくして原発稼働はあり得ない。フクシマの瓦礫すら、受入れ先が決まらないのである。故に、「出来る限り早い原発ゼロ」が模範解と考える。しかるに産経、読売が主張するように、安全保障や国際的しがらみの課題があることも知った。再生可能エネルギー太陽光、風力の課題も学んだ。一方で、火力の高効率化や省エネ(製品、住宅、送電等)、電力自由化と発送電分離、日本型スマートグリッド、更には領有海域に潜在する海洋エネルギーやメタンハイドレート等、ポジティブな話題もある。これら将来性ある資源への投資が、国益に適い子孫への遺産になるものと考える。…等々、やじ馬がこれまでに学んだ知識を、これからも当分投稿を続けさせてもらいます。…ご笑待下さい。

第3話了 (2012.12.01)

## ◇ おしらせ ◇

直に市外局番のないものは 0276 です

行事	日時	場所	申込み、他
1月の囲碁愛好会	1月 21日(月) 9:30~	ブライダルスクール	ご自由にご参加ください
1月の麻雀愛好会	1月 10(木)、25日(金) 9:30~17:00	ブライダルスクール 会費 1000円	申込み 1/8 日、23 日まで 荒井 昭三 (52-0803) 小林 昌樹 (38-0964)
1月の将棋愛好会	1月 28日(月) 9:30~	ブライダルスクール	ご自由にご参加ください
1月 グラウンドゴルフ例会	1月 21日(月) 9:30(集合9:15)	利根G/G場 (会費:無料)	希望者は直接会場へ (雨天中止)
第60回ゴルフ愛好会 (記念大会)	4月 9日(火)予定	上武ゴルフ場 (会費 2000 円)	川口 (56-2678) 関根 (31-8410) 長谷川 (0270-74-2056) 竹沢 宏 (52-2271)
2月のカラオケ月例会	2月 4日(月) 17:30~21:30	「まねきねこ」 0276-52-3450	申込み: 2月 2日まで 大橋 浩 (52-3866) 江川 八郎 (52-1886)
2月のパソコンサークル	2月 4日(月) 13:30~14:45	労組会議室	ご自由にご参加ください
2月の幹事会	2月 4日(月) 15:00	労組会議室	
1月の編集委員会	1月 21日(月) 13:30	労組会議室	

訃報



大島 恭亮 さん (享年80歳) 太田市新田村田町  
12月 7日ご逝去されました。ご冥福をお祈り申し上げます。

割烹 明養軒

各種宴会・法事他承ります 0276-52-0007

朝日

大小ご宴会・ご会食 52-0112

## 編集後記

経済活性化のため、年金受給者は、“沢山お金を使ってくれー”と言われてもねー

余力のあるご家庭では、是非ともご協力を願いしたいところですね、まず手始めに、社内分譲で電気製品の購入から手掛けられては如何でしょうか。但し、太陽光発電システムへの投資は、当社も参画しているものの、電気料金の値上げ(注1)に直接関係する事が懸念されるので、些か躊躇せますが。また、ずーと蓄財を旨としてこななかった我が家では、なかなかでーす、“爺ちゃんおこづかい”にこたえるのが精々でしょーうね。

何年か前の秋の親睦旅行の時、とある、みやげ物店に入った時、販売員のリーダーが我々のグループをとらえて“厚生年金のお客様でーす、さあーがんばりましょうー”と言っていたのを思い出した。その時は何の事か理解出来なかったが、今から考えれば、厚生年金受給者は随分と期待されているのかなあーと思った。

上村 記

注1：急激な値上げを避けるため、電力会社の買上総量に規制が有る。

発行 2013-1-1 No. 237

発行責任者 二宮 平太郎

● 編集：「菱の実会だより」編集委員会 ● 事務局 三菱電機労働組合群馬支部内

〒370-0492 群馬県太田市岩松町 800

TEL 0276-52-3874 Fax 0276-52-3207